

Microsoft System Center Operations Manager 向け Dell Client Management Pack バージョン 6.1

ユーザーズガイド



メモ、注意、警告

-  **メモ:** メモでは、コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。
-  **注意:** 注意では、ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。
-  **警告:** 警告では、物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

著作権 © 2009 - 2015 Dell Inc. 無断転載を禁じます。 この製品は、米国および国際著作権法、ならびに米国および国際知的財産法で保護されています。Dell™、および Dell のロゴは、米国および / またはその他管轄区域における Dell Inc. の商標です。本書で使用されているその他すべての商標および名称は、各社の商標である場合があります。

2015 - 08

Rev. A00


目次

1 概要	4
本リリースの新機能.....	4
Dell Client Management Pack の主要機能.....	4
Dell Client Management Pack について.....	6
Dell Client Management Pack によってモデル化されたコンポーネントの詳細.....	6
2 Dell Client Management Pack の操作	7
検出とグループ化.....	7
Dell クライアントシステムの検出.....	7
Dell ハードウェアの検出とグループ化.....	8
Dell Client Management Pack によって検出されたオブジェクト.....	9
監視.....	10
正常性状態インジケータ.....	10
ビュー.....	10
タスク.....	13
クライアントの再起動とシャットダウン.....	13
Dell クライアントシステム用 Remote Desktop の起動.....	13
レポートへのアクセス.....	14
OpenManage Windows イベントログ.....	14
Dell Client System Management Pack のカスタマイズ.....	14
ユニット監視.....	14
オブジェクト検出.....	16
ルール.....	16
Dell Command Monitor または OMCI 上書きプロパティ.....	17
3 関連文書とリソース	18
OpsMgr の機能と拡張性に関する Microsoft のガイドライン.....	18
その他の必要マニュアル.....	18
デルサポートサイトからの文書へのアクセス.....	18
4 トラブルシューティング	20

概要

本書は、Dell Client Management Pack バージョン 6.1 で実行可能な操作について説明します。

Microsoft System Center 2012 R2 Operations Manager、Microsoft System Center 2012 SP1 Operations Manager、Microsoft System Center 2012 Operations Manager、または Microsoft System Center Operations Manager 2007 R2 と Dell Client Management Pack バージョン 6.1 との統合により、Dell クラウドシステムの可用性の管理と監視が可能になります。

 **注意:** データの破損、損失、またはそれら両方を避けるため、本書の手順は **Microsoft Windows オペレーティングシステム** および **Microsoft System Center 2012 R2 Operations Manager**、**Microsoft System Center 2012 SP1 Operations Manager**、**Microsoft System Center 2012 Operations Manager**、および **Microsoft System Center Operations Manager 2007 R2** の使用における適切な知識と経験をお持ちの場合にのみ実行してください。

 **メモ:** 本書中の OpsMgr という用語は、特に指定のない限り、Microsoft System Center 2012 R2 Operations Manager、Microsoft System Center 2012 SP1 Operations Manager、Microsoft System Center 2012 Operations Manager、および Microsoft System Center Operations Manager 2007 R2 を指して使用されます。

既知の問題についての情報に加え、ソフトウェアおよび管理サーバー要件の最新情報が記載されている Dell Client Management Pack のリリースノートファイルをお読みください。リリースノートファイルは、dell.com/support/home のシステム管理マニュアルページに掲載されており、自己解凍型実行ファイル **Dell_Client_Management_Pack_v6.1_Axx.exe** (xx は Dell MD Storage Array Management Pack のリリース番号) にも収録されています。

本リリースの新機能


Dell Client Management Pack の本リリース新機能は次のとおりです。

- Dell Command | Monitor バージョン 9.1 のサポート。
- バッテリー充電状態のためのユニット監視の追加。
- 誤り訂正符号 (ECC) メモリのためのアラートの追加。

Dell Client Management Pack の主要機能

次の表は、Dell Client Management Pack の主要機能と機能性をリストしています。

表 1. 機能と機能性

機能	機能性
検出	<p>対応 Dell Command Monitor または OMCI バージョン、および Windows オペレーティングシステムがインストールされている Dell Venue Pro タブレット、Dell Precision、Dell Latitude、および Dell OptiPlex クライアントシステムの帯域内検出をサポートします。</p> <p>次の場合、Client Management Pack 検出プロセスは、Dell システムを Dell 管理対象外クライアント として分類します。</p> <ul style="list-style-type: none"> サポートされる Dell Command Monitor または OMCI サービスがインストールされていない。 Dell クライアントシステムに OMCI 8.1 より前のバージョンがインストールされている。 Dell Command Monitor または OMCI サービスが停止または無効化されている。 クライアントシステムが Dell Vostro システムである。
監視	<p>Dell クライアントシステムの正常性監視、およびプロセッサ、Dell Command Monitor または OMCI サービス、センサー、およびストレージのインスタンスレベルの正常性情報をサポートします。</p> <p> メモ: メモリコンポーネントに対しては、グループレベルの監視のみがサポートされています。メモリインスタンスに対するインスタンスレベルの監視はサポートされません。</p>
Dell クライアントシステムからのアラート	<p>Dell Command Monitor または OMCI が Windows イベントログにイベントを生成します。</p>
OpenManage Windows イベントログの報告	<p>イベント分析レポートには、選択された Dell Windows クライアントシステムの Dell Command Monitor または OMCI イベントのイベント時刻、ログレコード、状態（重要度）が表示されます。</p>
Remote Desktop の起動	<p>OpsMgr コンソールを介してクライアントシステムの Remote Desktop を起動します。</p>
クライアントのシャットダウンおよび再起動	<p>OpsMgr コンソールを介した Dell クライアントシステムのシャットダウンおよび再起動タスクをサポートします。</p>
ハードウェア正常性ロールアップ	<p>Windows コンピュータ正常性へのクライアントハードウェア正常性ロールアップを提供します。詳細については、「Dell クライアントのハードウェア正常性ロールアップの表示」を参照してください。</p>

Dell Client Management Pack について

次の表では、Management Pack とユーティリティ、およびそれらの相互依存性について説明します。

表 2. Management Pack の機能性と相互依存性

Management Pack/ ユーティリティ	説明	依存関係
Base Folder Utility	OpsMgr コンソールの 監視 ページで、Dell ハードウェアグループと Dell フォルダを定義します。	なし
Dell Windows Client Management Pack	対応 Dell クライアントシステムとそのコンポーネントのための検出、監視、およびアラート管理を行います。	Base Folder Utility 4.0

Dell Client Management Pack によってモデル化されたコンポーネントの詳細

次の表に、Management Pack によってモデル化されたコンポーネントの詳細を記載します。

表 3. Management Pack の詳細とモデル化されたコンポーネント

管理パック	コンポーネント詳細
Dell Windows Client Management Pack (Dell.WindowsClient.mp)	<p>Dell クライアントシステムのハードウェアコンポーネントを表示し、コンポーネントグループレベルまでの監視を行います。</p> <p>クライアントダイアグラムビューには、次の各コンポーネントの正常性が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none">• Dell Command Monitor または OMCI サービス• プロセッサ• センサー• 保管時• メモリ

Dell Client Management Pack の操作

本章では、Dell Client Management Pack を使用して OpsMgr で実行できる各種操作についての情報を提供します。

Dell Client Management Pack は、Dell クライアントシステムを管理するための次の操作を可能にします。

- サポートされる Dell Command | Monitor または OMCI サービス、およびクライアント Windows オペレーティングシステムを実行している Dell Venue Pro タブレット、Dell Latitude、Dell Precision、および Dell OptiPlex システムの検出と監視。
- Dell Command | Monitor または OMCI サービスなしで実行されている Dell クライアントシステムを **Dell 管理対象外クライアント** グループ下に分類。
 - **メモ:** Dell Vostro システムは **Dell 管理対象外クライアント** グループに表示されます。
- 定期的にポーリングを行うことによるクライアントハードウェアコンポーネントの正常性状態の監視、および **ダイアグラムビュー** での各コンポーネントの状況のアップデート。正常性状態とは、コンポーネント、システム、またはサービスの機能パフォーマンスの標準化された説明です。
- クライアントシャットダウンと再起動タスクの実行。
- Dell クライアントシステム用リモートデスクトップの起動。
- Dell Windows イベントログ、および管理下システムの Windows イベントログからの Dell Command | Monitor および OMCI イベントについてのレポート生成。

検出とグループ化

Dell クライアントシステムの検出


ネットワーク内の Dell クライアントシステムを検出するには、デバイスが OpsMgr コンソールの **管理** セクションにある **エージェント管理対象** ビューに表示されていることを確認してください。お使いの実装の必要を満たすため、上書きを使用して、特定の Dell ハードウェアの検出および監視間隔を長くしたり短くすることができます。

次の場合、クライアント検出プロセスは Dell システムを **Dell 管理対象外クライアント** として分類します。

- Dell クライアントシステムに OMCI 8.1 より前のバージョンがインストールされている。
- Dell Command | Monitor または OMCI サービスが無効化されている、または実行されていない。
- クライアントシステムが Vostro システムである。

Dell クライアントシステムの追加

エージェント**管理対象** リストに Dell クライアントシステムを追加するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr 管理グループ用の OpsMgr システム管理者役割を持つアカウントで、システムにログインします。
2. OpsMgr コンソールで **管理** をクリックします。
3. **管理** ペイン下部の **検出ウィザード** をクリックします。
コンピュータおよびデバイス管理ウィザード 画面が表示されます。
4. 画面の説明を読んでから、**次へ** をクリックします。
5. Dell クライアントシステムを検出するには、**詳細検出** オプションを選択します。
6. **コンピュータおよびデバイスクラス** ドロップダウンリストで **クライアントのみ** を選択します。
7. **次へ** をクリックします。
検出方法 画面が表示されます。
8. 次の 2 つのオプションのいずれかを選択します。
 - **Active Directory をスキャン** – Active Directory から選択したオブジェクトを指定できます。
 1. **設定** をクリックして、スキャンするオブジェクトを検索するためのクエリを作成します。
 2. **ドメイン** ドロップダウンリストから、検出するオブジェクトがあるドメインを選択します。
 - **コンピュータ名を参照、または入力** – 検出する Dell クライアントの名前を参照、または入力できます。参照をクリックしてネットワーク上のシステムを検索するか、検出するシステムの名前を入力します。
9. **次へ** をクリックします。
システム管理者アカウント ページが表示されます。
10. 次の 2 つのオプションのいずれかを使用して、スキャンするコンピュータでシステム管理者権限を持つユーザーアカウントを指定します。
 - **選択した管理サーバー処置アカウントを使用する** - 既存の管理サーバー処置アカウントをシステム管理者アカウントとして使用できることを示します。
 - **その他のユーザーアカウント** – 既存の管理サーバー処置アカウント以外の任意のアカウントを指定できることを示します。**ユーザー名**、**パスワード**、およびアカウントが存在する **ドメイン** を指定します。
 **メモ:** ドメインアカウントではなくローカルアカウントですを選択した場合は、ドメイン名の代わりに **コンピュータ名** を指定する必要があります。
11. **検出** をクリックします。
管理するオブジェクトの選択 ページに、選択した Dell クライアントシステムのリストが表示されます。
12. 管理する Dell クライアントシステムを選択して、**次へ** をクリックします。
13. エージェントインストールディレクトリ のパス、エージェント**処置アカウント** の資格情報を指定し、**終了** をクリックします。

Dell ハードウェアの検出とグループ化

次の表は、Dell Client Management Pack によるハードウェア検出とグループ化の詳細をリストしています。

表 4. Dell ハードウェアの検出とグループ化

分類	OpsMgr コンソールでのグループ名	ハードウェアタイプ
Dell Windows	Dell 管理下	Dell クライアントシステム : <ul style="list-style-type: none"> • Dell Latitude • Dell Precision • Dell OptiPlex • Dell Venue Pro タブレット
	Dell 管理対象外	Vostro クライアントシステム

Dell Client Management Pack によって検出されたオブジェクト

次の表は、Dell Client Management Pack によって検出されたオブジェクトの詳細を示します。

表 5. Dell オブジェクト検出






検出オブジェクト	説明
Dell 管理下クライアントグループ群検出	Dell 管理下グループと共に Dell ビジネスクライアントが対応するすべてのモデルを検出します。
Dell クライアント検出	サポートされる Dell Command Monitor または OMCI 装備の Dell ビジネスクライアントのすべてのサポート対象モデルを検出します。
Dell クライアントのハードウェアコンポーネント検出	プロセッサ、センサー、ストレージ、およびメモリコンポーネントを含む、すべての Dell クライアントコンポーネントを検出します。
サービス検出	Dell Command Monitor または OMCI サービスを検出します。
Dell ハードウェアグループ群検出	Dell クライアントグループの Dell ハードウェアグループを検出します。
管理対象外クライアントグループ群検出	<p>次の場合には、Dell 管理対象外 として Dell クライアントシステムを検出します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • サポートされる Dell Command Monitor または OMCI サービスがインストールされていない。 • OMCI 8.1 より前のバージョンがインストールされている。 • Dell Command Monitor または OMCI サービスが停止または無効化されている。 • クライアントシステムが Dell Vostro システムである。
Dell クライアントグループ群検出	管理下および管理対象外クライアントグループを持つ Dell クライアントグループを検出します。

監視

Dell Client Management Pack は、検出された Dell クライアントシステムの監視を可能にします。正常性状態インジケータは、ネットワーク上にあるお使いの Dell クライアントシステムの正常性監視に役立ちます。

正常性状態インジケータ

次の表は、検出された Dell クライアントシステムの正常性状態を示す OpsMgr コンソールのアイコンをリストとしています。重大度伝達の詳細については、「[状態ビュー](#)」を参照してください。

アイコン	重大度レベル
	正常 / OK – コンポーネントは正常に動作しています。
	警告 / 非重要 – プローブまたはその他の監視デバイスが、許容レベル以上または以下の読み取り値のコンポーネントを検出しました。コンポーネントが引き続き動作している場合もありますが、故障する可能性があります。正常な機能が損なわれた状態でコンポーネントが動作している可能性もあります。
	重要 / 障害 / エラー – コンポーネントが故障しているか、故障が差し迫った状態です。コンポーネントに対して迅速な対応が必要で、交換が必要な場合もあります。データ損失が発生している可能性があります。
	特定のコンポーネントが監視されていません。
	サービスを利用できません。

ビュー

次のビューを使用して Dell クライアントシステムを監視できます。

- [アラートビュー](#)
- [ダイアグラムビュー](#)
- [状況ビュー](#)

アラートビュー

アラートビューには、監視しているシステムで実行されている対応 Dell Command | Monitor または OMCI サービスから受信されたイベントのアラートが表示されます。監視しているシステムのアラートを表示するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで **監視** をクリックします。
2. **監視** ペインで、**Dell** フォルダに移動し、各種ビューを表示するフォルダをクリックします。
3. **アラートビュー** → **クライアントアラート** とクリックします。

OpsMgr コンソールが、監視しているすべての Dell クライアントシステムのアラートを **クライアントアラート** ペインに表示します。割り当てられた重大度、解決状態、またはアラートなど、OpsMgr コンソールの **オーサリング** ペインで指定した基準に合うアラートを表示することができます。

4. **アラート詳細** ペインで詳細を表示するアラートを選択します。

ダイアグラムビュー

ダイアグラムビュー は、OpsMgr が管理するネットワーク上の全 Dell クライアントを、階層式および図解で示します。Dell Windows Client Management Pack には次のビューがあります。

- **クライアントダイアグラム**
- **完全ダイアグラムビュー**

クライアントダイアグラムビュー

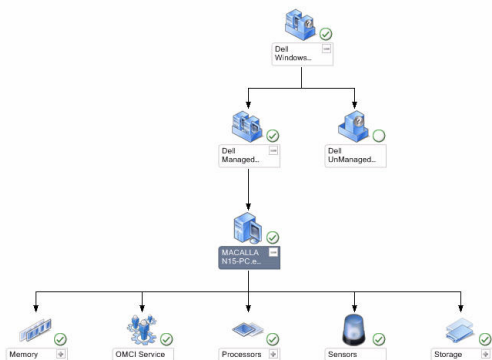


図 1. OpsMgr で管理されている Dell クライアントシステムの図解です。

クライアントダイアグラムにアクセスするには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで **監視** をクリックします。
2. **監視** ペインで、**Dell** フォルダに移動し、各種ビューを表示するフォルダをクリックします。
3. **ダイアグラムビュー** → **クライアントダイアグラム** の順にクリックします。

クライアントダイアグラム は、OpsMgr が管理する Dell クライアントシステムすべての図形表現を提供します。このダイアグラムでは、個々のシステムおよびそれらのコンポーネントを展開して、状態を確認できます。このビューのルートノードは **Dell Windows クライアント** グループです。このビューでは、**Dell クライアント** の詳細を表示できます。
4. ダイアグラムでコンポーネントを選択し、**詳細ビュー** ペインに詳細を表示します。Dell Command | Monitor または OMCI サービスの他、Dell クライアントの次のハードウェアコンポーネントの詳細も表示できます。
 - **メモリ**
 - **プロセッサ**
 - **センサー**
 - **保管時**

完全ダイアグラムビュー

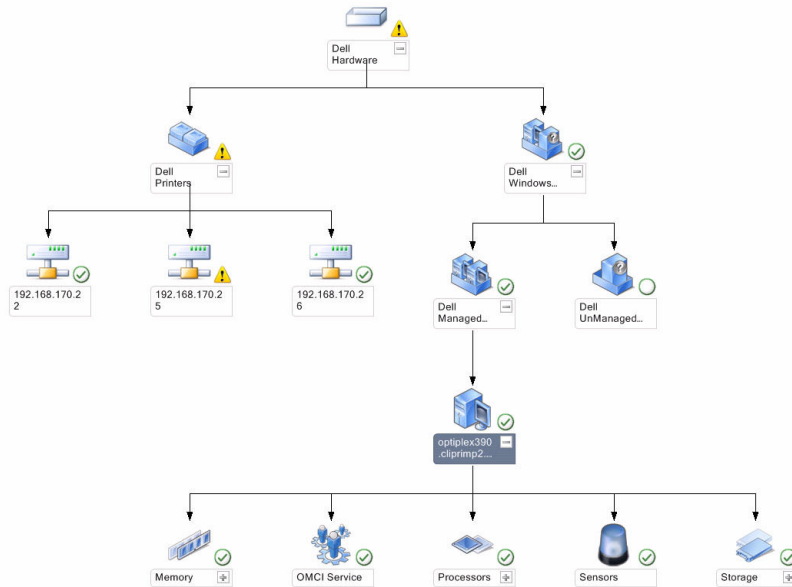


図 2. 全 Dell デバイスの図解

完全ダイアグラムビューにアクセスするには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで **監視** をクリックします。
2. 左側の **監視** ペインで、**Dell** フォルダに移動し、別のビューを表示するフォルダをクリックします。
3. **ダイアグラムビュー** → **完全ダイアグラムビュー** の順にクリックします。

完全ダイアグラムビューには、OpsMgr が管理するすべての Dell デバイスが図示されます。このダイアグラムでは、個々のデバイスおよびそれらのコンポーネントを展開して、状態を確認できます。**完全ダイアグラムビュー** を使用して、**Dell クライアント** および **Dell 管理対象外** の詳細を表示することができます。

4. ダイアグラムで、**詳細ビュー** ペインで詳細を表示するコンポーネントを選択します。

Dell クライアントのハードウェア正常性ロールアップの表示

Windows コンピュータ正常性にロールアップされた Dell クライアントのハードウェア正常性を表示することができます。

Dell クライアントハードウェア正常性ロールアップを表示するには、次の手順を実行します。

1. 操作コンソールで **マイワークスペース** をクリックします。
2. **お気に入りビュー** を右クリックし、ポップアップメニューから、**新規** → **ダイアグラムビュー** の順に選択します。
ダイアグラムビューの作成 ウィンドウが表示されます。
3. **名前** テキストボックスに希望の名前を入力します。
4. **説明** テキストエリアに希望の説明を入力します。
5. **ターゲットの選択** セクションで **参照** をクリックします。
オブジェクトの選択 ウィンドウが表示されます。
6. **オブジェクトの選択** ウィンドウで、**次を探す** ドロップダウンリストから **Dell Windows クライアント** を選択し、**検索** をクリックします。

7. **追加** をクリックし、次に **OK** をクリックします。
8. **テンプレートから選択** セクションで、ドロップダウンリストから **クライアントダイアグラム** を選択します
9. **作成** をクリックします

状況ビュー

状況ビューは、お使いのネットワーク上で OpsMgr によって管理されている、各 Dell デバイスの状態を表示します。Dell Client Management Pack は、ネットワーク上の Dell クライアントシステムの正常性を監視するために役に立つ、重大度レベルインジケータのリストを提供します。

状況ビューへのアクセス

状況ビューにアクセスするには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで **監視** をクリックします。
2. 左側の **監視** ペインで、**Dell** フォルダに移動し、別のビューを表示するフォルダをクリックします。
3. **状況ビュー** → **クライアント** とクリックします。
OpsMgr コンソールでは、監視しているすべての Dell クライアントシステムの状態が右ペインに表示されます。
4. 状態を選択して、**詳細ビュー** ペインに詳細を表示します。

タスク

タスクは OpsMgr コンソールの **処置** または **タスク** ペインで使用できます。**ダイアグラムビュー** または **状況ビュー** でクライアントシステムを選択すると、関連タスクが **アクション** または **タスク** ペインに表示されます。

クライアントの再起動とシャットダウン

クライアントを再起動またはシャットダウンするには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、**状況ビュー** または **ダイアグラムビュー** のいずれかに移動します。
2. 検出された任意の Dell クライアントシステムを選択します。
3. **処置** または **タスク** ペインで、**クライアント再起動** または **クライアントシャットダウン** のいずれかをクリックします。
タスクの実行 画面が表示されます。
4. **実行** をクリックします。

Dell クライアントシステム用 Remote Desktop の起動


クライアントシステム用の Remote Desktop を起動するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、**ダイアグラムビュー** または **状況ビュー** のいずれかに移動します。
2. 検出された任意の Dell クライアントシステムを選択します。
3. **処置** または **タスク** ペインの **Dell クライアントインスタンスタスク** にある **Remote Desktop の起動** をクリックします。
クライアントシステム用の Remote Desktop が起動されます。

レポートへのアクセス

レポート機能にアクセスするには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで **レポート** をクリックします。
2. ナビゲーションペインの **レポート** を展開します。
3. **Dell クライアント** をクリックします。

 **メモ:** クライアントインスタンスをクリックして、**ダイアグラムビュー** から **レポート** にアクセスすることもできます。**Dell OpenManage Windows イベントログ** オプションは、デフォルト Microsoft レポートとともに Dell システムインスタンスレポート下の **処置 / タスク** ペインにあります。

OpenManage Windows イベントログ

イベント分析レポートには、選択された Dell Windows クライアントシステムの Dell Command | Monitor または OMCI イベントのイベント時刻、ログレコード、状態（重要度）が表示されます。

OpenManage Windows イベントログのレポートを生成するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで **レポート** をクリックします。
2. ナビゲーションペインの **レポート** を展開します。
3. **OpenManage Windows イベントログ用 Dell クライアント** をクリックします。
4. **処置** または **タスク** ペインで **開く** をクリックします。
5. レポートを生成する期間を選択します。
6. **オブジェクトの追加** または **グループの追加** をクリックします。
7. オブジェクトまたはグループを検索するには、**検索** をクリックします。
8. 単一または複数のオブジェクトを追加するには、**追加** を選択します。
選択したオブジェクトペインにそのオブジェクトが表示されます。
9. レポートを生成するイベントの重大度を選択します。
10. **実行** をクリックして、Windows イベントログレポートを生成します。

Dell Client System Management Pack のカスタマイズ

上書きを使用して OpsMgr オペレータの特定の Dell ハードウェア管理ニーズに対する間隔を増加または減少させることにより、Dell Client Management Pack の次のコンポーネントをカスタマイズすることができます。


- **監視** - 監視対象オブジェクト内で発生する可能性のある様々な状態を評価します。この評価の結果が、ターゲットの正常性状態と生成されるアラートを決定します。
- **オブジェクト検出** - 監視が必要なネットワーク上のオブジェクトを検出します。
- **ルール** - 管理下オブジェクトによって生成されたイベントなどのデータを収集します。

ユニット監視

次の表は、クライアントシステムの各種 Dell ユニット監視および該当するパラメータについての情報を提供します。

表 6. Dell Client Management Pack の Dell ユニット監視

グループ	ユニット監視名	デフォルトの定期ポーリング設定
OMCI サービスインスタンス	定期的	3600 秒 (60 分)
Dell クライアントのメモリグループ	定期的	3600 秒 (60 分)
Dell クライアントのプロセッサグループ	定期的	3600 秒 (60 分)
プロセッサユニットのインスタンス	定期的	3600 秒 (60 分)
Dell クライアントシステムのセンサー	定期的	3600 秒 (60 分)
<ul style="list-style-type: none"> • バッテリ • バッテリ充電状態 • バッテリ正常性状態 • 現在 • ファン • インترلージョン • 温度 • 電圧 		
Dell クライアントのストレージグループ	定期的	3600 秒 (60 分)
ディスクユニットインスタンス	定期的	3600 秒 (60 分)

 **メモ:**

- シャーシドアを取り外したり閉じたりすると、Dell Command | Monitor または OMCI が **シャーシインترلージョン** イベントを生成します。**シャーシインترلージョン** イベントの有効化、無効化、およびクリアについての詳細は、Dell クライアントシステムの『オーナーズマニュアル』でセットアップユーティリティ (BIOS) を参照してください。
- メモリの **監視** は、グループレベルのみで可能です。

ユニット監視のカスタマイズ

上書きを使用することで、Dell Client Management Pack のユニット監視の次のパラメータをカスタマイズできます。

- **有効** – 監視を有効化または無効化することができます。**上書き** 設定を **正** または **誤** に設定できます。デフォルト設定は **正** です。

- **間隔秒数** – Server Management Pack がコンポーネントの正常性を確認するために、Dell デバイスをポーリングする頻度（秒数）です。デフォルトは 3600 秒（60 分）です。

ユニット監視は、間隔秒数で設定された定期的なポーリングによってトリガされます。

オブジェクト検出

表 7. Dell 検出オブジェクト

検出オブジェクト	説明	グループ
Dell クライアントシステムのハードウェアコンポーネントの検出	お使いのシステムのディスク、メモリ、センサー、プロセッサを検出します。	Dell クライアント
		Dell クライアントインスタンス
		Dell クライアントのハードウェアコンポーネント
		Dell クライアントのストレージグループ
		ディスクユニットインスタンス
		Dell クライアントのメモリユニットインスタンス
		Dell クライアントのプロセッサグループ
		プロセッサユニットのインスタンス
Dell Command Monitor または OMCI サービスの検出	Dell Command Monitor または OMCI サービスを検出します。	Dell クライアント
		Dell クライアントインスタンス
		Dell クライアントのサービス
		OMCI サービスインスタンス

オブジェクト検出のカスタマイズ

上書きを使用して、以下の Dell Client Management Pack 検出パラメータをカスタマイズできます。

- **有効** – 検出を有効化または無効化することができます。上書き設定を **正** または **誤** に設定できます。デフォルト設定は **正** です。
- **秒間隔** – Dell Management Pack がお使いの Dell クライアントシステムのコンポーネントインスタンスおよび属性を検出する頻度を、秒数で指定します。この属性のデフォルト値は 86400 秒（24 時間）です。

ルール

Dell システムイベント処理のルール

Dell Client Management Pack は Dell Command | Monitor または OMCI からのルールを処理します。これらのルールは、ルールの上書きパラメータを設定することによってカスタマイズできます。

ルールをカスタマイズするには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、**オーサリング** をクリックします。
2. **オーサリング** ペインで **Management Pack オブジェクト** 下の **ルール** を選択します。
3. **ルール** ペインで、**Dell クライアントインスタンス** を展開し、ルールを選択します。
4. ルールを右クリックして、**上書き** を選択します。
5. **ルールの無効化**、および任意のサブオプションを選択して、ルールを無効にします。
または

ルールの上書き、および任意のサブオプションを選択して、ルール用の上書きパラメータを設定します。

また、ルールのための **上書きプロパティ** ウィンドウで、**重大度** を変更することもできます。

6. **OK** をクリックして上書きパラメータをルールに適用するか、**キャンセル** をクリックして変更をキャンセルします。

Dell Command | Monitor または OMCI 上書きプロパティ

Dell Command | Monitor または OMCI に対するすべての警告と重要なイベントには、対応するイベント処理ルールがあります。


これらの各ルールは、次の条件に基づいて処理されます。

- ソース名 = 「Dell Command | Monitor または OpenManage Client Instrumentation」
- イベント ID = Dell Command | Monitor または OMCI イベントのイベント ID
- 重大度 = Dell Command | Monitor または OMCI イベントの重大度
- データプロバイダ = Windows システムイベントログ

関連文書とリソース

OpsMgr の機能と拡張性に関する Microsoft のガイドライン

拡張性に関するマイクロソフトの推奨については、マイクロソフトのウェブサイト technet.microsoft.com を参照してください。

-  **メモ:** パフォーマンス向上のため、Operations Manager データウェアハウスまたはデータベースで **Autogrow** オプションが有効化されていることを確認してください。

その他の必要マニュアル

dell.com/support/home では、『ユーザーズガイド』の他にも次のガイドをご利用いただけます。

- 『*Dell Command | Monitor ユーザーズガイド*』
- 『*Dell OpenManag Client Instrumentation ユーザーズガイド*』は、Dell OpenManage Client Instrumentation (OMCI) ソフトウェアを使用して、リモート管理アプリケーションプログラムからクライアントシステムの情報にアクセスする方法や、クライアントシステムの状態を監視または変更する方法を説明しています。
- 『*Dell Client Configuration Toolkit ユーザーズガイド*』は、クライアント設定ツールキット (CCTK) をインストールおよび使用して、Dell クライアントコンピュータプラットフォームにさまざまな BIOS 機能を設定する方法について説明しています。
- クライアントハードウェアの『*オーナーズマニュアル*』は、システム、システムコンポーネントの取り付け、システムのトラブルシューティングに関する情報を提供します。

デルサポートサイトからの文書へのアクセス

必要なドキュメントにアクセスするには、次のいずれかの方法で行います。

- 次のリンクを使用します。
 - すべての Enterprise システム管理マニュアル – Dell.com/SoftwareSecurityManuals
 - OpenManage マニュアル – Dell.com/OpenManageManuals
 - リモートエンタープライズシステム管理マニュアル – Dell.com/esmanuals
 - OpenManage Connection エンタープライズシステム管理マニュアル – Dell.com/OMConnectionsEnterpriseSystemsManagement
 - Serviceability Tool マニュアル – Dell.com/ServiceabilityTools
 - OpenManage Connections クライアントシステム管理マニュアル – Dell.com/DellClientCommandSuiteManuals
- Dell サポートサイトから、

- a. Dell.com/Support/Home に移動します。
 - b. **製品の選択** セクションで、**ソフトウェアとセキュリティ** をクリックします。
 - c. **ソフトウェアとセキュリティ** グループボックスで、次の中から必要なリンクをクリックします。
 - **エンタープライズシステム管理**
 - **リモートエンタープライズシステム管理**
 - **Serviceability Tools**
 - **Dell Client Command Suite**
 - **接続クライアントシステム管理**
 - d. ドキュメントを表示するには、必要な製品バージョンをクリックします。
- 検索エンジンを使用します。
 - 検索 ボックスに名前および文書のバージョンを入力します。

トラブルシューティング

次の表では、既知の問題、解決策、および問題の対象をリストしています。

表 8. OpsMgr に該当する問題と解決策

問題	解決策
Dell アラートが発生順に並べられていない。	<p>問題のある管理下システムのレジストリをチェックしてください。左側の概要定義の並べ替えフラッグが 誤 に設定されている場合があります。</p> <p>場合によっては、並べ替えフラッグへの変更がすでに行われた状態で Management Pack をインポートすると、並べ替えフラッグが管理下システムのレジストリでアップデートされない場合があります。レジストリでビュー用のこれらの設定を削除すると、そのビューに再度移動した時に、これらの設定が新しい Management Pack から再作成されます。ビュー用に、レジストリで並べ替えフラッグを編集することもできます。</p> <p>レジストリ編集：</p> <pre>HKEY_CURRENT_USER\Software\Microsoft\Microsoft Operations Manager\3.0\Console\% GUID.ViewTitle\AlertsView\Age</pre> <p>アラートの並べ替えを有効にするには、IsSortable と IsSorted キーが 1 に設定されているようにしてください。</p>
特定の状況下で、 ハンドル数しきい値 および プライベートバイトしきい値 が管理サーバーの OpsMgr コンソールに表示される。	support.microsoft.com で参照できる Microsoft KB968760 がこの問題を解決します。
特定の状況下で、イベント ID が 623 でイベントソースが Health Service ESE Store のエラーメッセージが管理サーバーの OpsMgr コンソールに表示される。	support.microsoft.com で参照できる Microsoft KB975057 がこの問題を解決します。
次のような問題が発生する場合がある。 <ul style="list-style-type: none"> ウェブコンソールが開かない。 マイワークスペース ページが表示されない。 パフォーマンス および 電源監視ビュー が表示されない。 正常性サービス がシステム上で起動しない場合がある。 	support.microsoft.com で参照できる Microsoft KB954049 がこの問題を解決します。

問題	解決策
<p>管理 コンソールの レポート 領域で、レポートが正しく表示されない。</p>	<p>support.microsoft.com で参照できる Microsoft KB954643 がこの問題を解決します。</p>
<p>正常性サービスがクラッシュしたことが原因で、OpsMgr コンソールが断続的に「Health service Host Process encountered a problem and needed to close」というメッセージを表示する。Dell デバイスの検出と監視で予期しない動作が発生する場合があります。</p>	<p>support.microsoft.com で参照できる Microsoft KB951526 がこの問題を解決します。</p>
<p>OpsMgr コンソールから Management Pack を削除しても、クライアントアラートビューとダイアグラムビューが削除されない。ユーザーがどちらかのクライアントビューを開くと、Object not found のエラーが表示されます。</p>	<p>OpsMgr コンソールを一度閉じてまた開きます。</p>
<p>OpsMgr ウェブコンソールの ダイアグラムビュー にあるオブジェクトのツールチップが属性に関する情報を表示しない。</p>	<p>OpsMgr コンソールに切り替えます。</p>
<p>ウェブコンソールの アラートビュー に Dell Command Monitor または OMCI アラートが表示されない。</p>	<p>OpsMgr コンソールに切り替えます。</p>
<p>Health Explorer を使用するとき、センサー インスタンス下の Dell クライアント管理パック内の一部のユニット監視で、サブインスタンスがないにもかかわらず、状態が緑に表示されることがある。</p>	<p>これは、そのインスタンスが存在しており、ユニット監視が実行されたときに、ユニット監視が「使用不可能」状態を表示できないためです。</p>
<p>クライアントシステムが クライアントの再起動とシャットダウン タスクでシャットダウンしない。</p>	<p>クライアントシステムでアプリケーションが実行されていないことを確認してください。</p>